



↑ 村中さんのやさしい口調での語りかけに
会場は温かい雰囲気に包まれていました

これは、市民図書館とか、絵本に親しみを持ち、家読をさらに広めていこうと、毎年開催しているものです。今回は、山口学芸大学客員教授の村中李衣さんが『しあわせを紡ぐ』絵本の読みあい』と題して基調講演を行いました。

村中さんは、相手のために選んだ本で心を通わせることができる『読みあい』の大切さや、どうすれば『おはなしの世界』を共有できるかなど、自身が体験したことを交えて話しました。参加者は、村中の説得力のある話を熱心に聞き入つていました。

推進講演會 うぢどくくわい

2月2日、市民図書館で『うちどく推進講演会』がありました。

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No.275

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権同和問題について話し合ってみましょう。

『しあわせ』の根っこにあるものは

●問合先 生涯學習課人權・同和教育係(☎23-3186)

人権とは「誰もが生まれながらに持つてゐる、人としてしあわせに生きる権利」のことである。されば「くつづけ」

を挙げ、そのなかの一つが『つながりと感謝（ありがとう）』だと言っています。

ネット社会のいま、ミニミニケーション手段は多様化し、豊かな人権社会の実現が

極端な意見が増幅され、偽情報が飛び交うなど、インターネットによる人権侵害も社会期待されましたか、現実には

問題となっています。人と人
とが直接顔を合わせてコミュニケーションを交わす関係も

希薄化していますが、私たち
が暮らす伊万里では、まだ地
域の中での『つながり』が健

在です。少子高齢化が深刻化し、支えあう人間関係の重要性が叫ばれるいま『つながり』が求められています。一、二

か求められて います 一人 ひ
とりの力は限られていますが、そ
の力が集まれば大きなものに
なります。誰もが安心して安

全に暮らせる社会を築くために、笑顔の輪を広げましょう。

1月26日は文化財防火デー

● **問合先** 生涯學習課文化財係（**22-1262**）

にある国指定重要文化財の『田嶋神社』で、田嶋神社氏子会を中心、伊万里・有田消防署、地元の消防団、消防設備設置業者が協力して防火訓練を行っています。

訓練は、消防設備を操作し、放水するなど、実践的に行われていて、万が一、火災が発生したときにどう行動するべきかを確認しています。

また、田嶋神社では、防災訓練だけでなく、消防設備点検を毎月行つて、地元の氏子会により日ごろから安全が守られ、貴重な文化財を保護しています。

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。文化財防火デーは、文化財を火災や震災、その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を行い、国民の文化財愛護に関する意識の向上を目指しています。

文化財防火デーが制定されたのは、昭和24年1月26日で、これは、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことや、1月と2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることに由来して

います。

国的に文化財防火運動が実施されていて、文化庁や消防庁、都道府県・市区町村教育委員会、消防署、文化財所有者、地域住民などが連携・協力して、さまざまな活動が行われています。

市内では、毎年、その防火運動の一環として、波多津町



↑ 陸上訓練の様子